

# コンサルティング 最終報告

特定非営利活動法人 西濃地域精神障害者家族会いぶき会

いぶき作業所

平成31年3月



# 派遣先事業所が抱える問題及び支援分野

<初回（12/17）> 担当：関原、北野

- H3法人設立（それ以前は共同作業所）  
→家族が子どもたちの居場所として立ち上げた経緯がある。
- H19年7月にB型に移行。主な障害種別は精神障害。
- H29年度平均工賃：3,897円

<問題点>

- ① 利用者の通所が不安定  
→精神系の利用者が多く、通所が3日/週未満の利用者が全体の73%を占めている。  
（定員20、登録23、うち17名は週3未満）  
→1日の平均通所人数は10名程度の為、生産量に限界があり、請負を拡大することが困難。
- ② 工賃支払規程の不一致  
→通所が不安定、かつ通所しても作業に従事できない利用者が多数いる中、時給制を導入しており、かなりの低工賃利用者が存在する。
- ③ 請負作業の単価が低く工賃原資を確保できない  
→単価が低い請負作業があり、必要な工賃原資額を確保することが出来ない。

# 派遣先事業所が抱える問題及び支援分野

## ＜方針＞2-2生産性向上＋工賃支払規程改定

- 支援者人時売上算出による作業別単価評価→継続作業選定
- 作業アセスメント表の作成と評価・支援の具体化→生産量拡大
- 新規請負獲得戦略
- 作業別単価設定による工賃支払規程への改定（十日当制の導入検討）
- （中長期的には）多機能化も視野  
→利用日数の少ない方をB型で受け止め続けられるのか？  
→生活介護・自立訓練（生活）・地活等を活用した居場所機能の継続



## ＜支援分野：2-2生産性向上＋工賃支払規程、1-3新規請負、多機能化＞ 担当：北野

- 2回目（1/11）：支援者人時売上算出と作業分解・新規請負獲得戦略①
- 3回目（2/1）：支援者人時売上算出と作業分解・新規請負獲得戦略②
- 4回目（2/22）：工賃支払規程設計

※随時：利用者層にマッチした事業形態の模索（多機能化）

# コンサルティング内容

- 2回目（1/11）：各請負作業の支援者人時売上と作業アセスメントシート作成
  - 宿題①各上請負作業の支援者人時売上算出

作業種	単価	生産数	支援者人時売上	最賃比率	位置づけ 今後	利用者人時売上			支払い可能工賃
						早い	平均	ゆったり	
渡辺精工(30B)	3.8	50	190	23.0%	◎ 利用者に人気。コンスタントにある	単価交渉 190	57	19	1,283
渡辺精工(TLE-A)	1.5	300	450	54.5%	○ 不定期。小ロット	現状維持 450	135	45	3,038
渡辺精工(OFL)	2.5	120	300	36.4%	○ 不定期。少ロット	現状維持 300	90	30	2,025
渡辺精工(OF)	23	12	276	33.5%	△ 利用者が慣れている。常にある。納品が速い	単価交渉 →新規獲得後撤退 276	83	28	1,863
渡辺精工(SCH)	0.4	720	288	34.9%	△ 利用者が慣れている。常にある。納品が速い	単価交渉 →新規獲得後撤退 288	86	29	1,944
サンメッセ(計算カード)	16	18	288	34.9%	○ 利用者が慣れている。常にある。納期も厳しくない	現状維持 288	86	29	1,944
補修布	2	216	432	52.4%	○ 常にあるが、利用者が好きじゃない	現状維持 432	130	43	2,916
段ボール板張り	2	273	546	66.2%	○ スポット(1回/月)	現状維持 546	164	55	3,686

※早い:×1 平均:×0.3 ゆったり:×0.1

平均作業時間22.5時間

- 各作業の位置づけと今後の方向性を整理
- 単価交渉を実施し、受注量の調整を実施していく

- 作業アセスメント：計算カードで作成
  - 次回までに早い・平均・ゆったりの3パターンの利用者でアセスメントを実施
  - 他作業のアセスメントシートも作成

# 【ご参考】作業アセスメントシート

計算カード

	要素作業	評価項目 任せられる/任せられない	1：出来 ない	2：サ ポートが あればで きる	3：たま にミスが ある	4：一人 で出来る
1	車からカードの束をおろす	重い物を持つことが出来る	1	2	3	4
		水平に持つことが出来る	1	2	3	4
		板の上に水平にスライドすることが出来る	1	2	3	4
		2人で協力して板を持つことが出来る	1	2	3	4
2	ハサミで袋を開ける	製品を傷つけずに袋をハサミで切ることが出来る	1	2	3	4
		袋に淵だけを切ることが出来る	1	2	3	4
		袋の上部分だけを切ることが出来る	1	2	3	4
3	繋がっているカードをワンシートに切り分ける	計算カードの区切りが分かる	1	2	3	4
		シートを3枚つかむことが出来る	1	2	3	4
		計算カードの区切り部分を切ることが出来る	1	2	3	4
3	10枚ずつ計算カードをシートから外す	計算カードがバラバラにならないように丁寧に扱う事が出来る	1	2	3	4
		両手で持つことが出来る	1	2	3	4
4	計算カードを裏返して向きを揃えて重ねる	裏表を判別できる	1	2	3	4
		向きがそろっているかを判別できる	1	2	3	4
5	計算カードを作業台に運ぶ	計算カードがバラバラにならないように丁寧に扱う事が出来る	1	2	3	4
		両手で持つことが出来る	1	2	3	4
6	計算カードの向きを左手前に表紙の裏がくるように配置する	表裏を判別できる	1	2	3	4
7	計算カードを1枚とる	1枚だけを取ることが出来る	1	2	3	4
		全カードがそろっているかを確認できる	1	2	3	4
		両手で作業することが出来る	1	2	3	4
8	左手で一番左側一列のカードをおさえる	1列をきちんと押さえる事が出来る	1	2	3	4
		右手で適度な力で右端を持つことが出来る	1	2	3	4
9	右手で右端を持って順番に蛇腹織りにしていく	1列ずつ織り込む	1	2	3	4
		左手で織り込んだカードを抑える	1	2	3	4
		右手ですべてのカードを抑えて淵を2枚切り取る	1	2	3	4
10	右手ですべてのカードを抑えて淵を2枚切り取る	右手でカードをしっかりと抑える事が出来る	1	2	3	4
		左手で淵部分だけをつまむことが出来る	1	2	3	4
11	カードを1段ごとに切り離す	カードをしっかりと抑える事が出来る	1	2	3	4
			1	2	3	4
12	上がチュールリップのカードを奥から手前にひっくり返す	チュールリップを判別できる	1	2	3	4
		穴がカードの右端にあるかを確認できる	1	2	3	4
13	手前から上に重ねていく	一束を取り残さずにつまむことが出来る	1	2	3	4
14	余分な星を全て取る	星をつまむことが出来る	1	2	3	4
15	表紙とチュールリップ白が上下になっているか 右角がずべて斜めになっているかを検品（表紙以外）	表紙とチュールリップ白を知っている	1	2	3	4
16	リングを開けて穴に通してリングを止める	リングを外すことが出来る	1	2	3	4
		片手でカードの束を持つことが出来る	1	2	3	4
		リングを穴に入れる事が出来る	1	2	3	4
		リングをしっかりと止めることが出来る	1	2	3	4
17	完成品を入れる箱に向きを揃えて入れる	きちんと並べる	1	2	3	4

## 派遣日ごとの支援内容等

- 3回目（2/1）：支援者人時売上算出と作業分解・新規請負獲得戦略②

- 単価交渉進捗

⇒渡辺精工（30B）：3.8円/個⇒**4.2円/個** 支援者人時売上190円⇒210円に。

⇒三恵（OF）：23円/個⇒**23.5円/個＋納品料金** 支援者人時売上276円⇒294円に。

**平均工賃5,395円に。（昨年度実績＋1,498円）**

- 新規請負営業進捗

⇒求人サイトを活用して実施可能な請負作業を検索したが、周辺エリアでは見つからず。

⇒職員のネットワークより、請負作業発注企業とつながり、新規請負交渉を実施。事業所視察も終了し、実施可能な請負があれば受注できることになっている。

⇒新規請負作業を実施する際には、支援者人時売上を算出し適正単価で受注できるよう交渉。

# 派遣日ごとの支援内容等

## ● 4回目（2/22）：工賃規程・多機能化検討

- 工賃支払規程の見直し

⇒総原資分配型一律時給の為利用者モチベーションが上がらない

⇒作業アセスメントシートを元に担当業務別時給設定でシュミレーション

利用者	出勤日数	勤務時間	日当		担当業務難易度			手当	新工賃	現工賃	差
			単価	金額	作業種	時給	金額				
A	9	18	200	1,800	4	160	2,800		4,600	4,000	600
B	0	0	200	0	1	100	0		0	0	0
C	2	4	200	400	2	120	480		880	914	-34
D	10	30	200	2,000	3	140	4,130		6,130	6,744	-614
E	15	58	200	3,000	3	140	8,050	3,000	14,050	13,087	963
F	14	32	200	2,800	4	160	5,160		7,960	7,372	588
G	2	3	200	400	1	100	250		650	571	79
H	4	5	200	800	2	120	630		1,430	1,200	230
I	1	1	200	200	3	140	140		340	229	111
J	8	11	200	1,600	1	100	1,050		2,650	2,400	250
K	10	20	200	2,000	3	140	2,800		4,800	4,572	228
L	7	24	200	1,400	1	100	2,375		3,775	5,429	-1,654
M	18	66	200	3,600	2	120	7,890	3,000	14,490	15,030	-540
N	1	2	200	200	3	140	280		480	457	23
O	12	36	200	2,400	4	160	5,760		8,160	8,230	-70
P	2	2	200	400	4	160	376		776	743	33
Q	0	0	200	0	1	100	0		0	0	0
工賃総額									71,171	70,978	193
平均工賃									4,745	4,732	

⇒日給＋担当作業別時給＋年度末賞与に変更（H31年度より導入予定）

## 派遣日ごとの支援内容等

---

- 4回目（2/22）：工賃規程・多機能化検討
  - 多機能化検討
    - ⇒通所日数が1桁/月の利用者が65%（17名中11名）の為、B型事業のみでは適切な支援を実施できない。
    - ⇒自立訓練（生活訓練）事業との多機能化で利用者の状態・ニーズに合わせた支援を実施することが必要。
    - ⇒今後、法人役員・保護者と協議の上、多機能化の方向性を検討していく



# 支援の成果と今後の見通し

## <成果>

### ① 請負単価UP

⇒平均工賃1,498円分売上増

### ② 作業アセスメント導入

⇒居場所→はたらく場所への支援者の意識変革

### ③ 多機能化の可能性

⇒通所日数が1桁/月の利用者に対して適切な支援を実施する為に生活訓練事業との多機能化を検討



## <今後>

- 新規請負業務獲得で工賃原資UP
- 工賃支払規定導入：日給+担当作業別時給で利用者のモチベーション向上
- 多機能化による利用者ニーズのマッチした支援の展開を実施